

爆走する対州馬に大歓声！ 対馬初午祭

10月31日、爽やかな秋晴の中、上県町瀬田地区の目保呂ダム馬事公園で、対馬初午祭が開催されました。まつりでは、対州馬による競馬「馬跳ばせ」が計8レース行われ、詰めかけた約1千名の観客は、土煙を上げて疾走する対州馬に盛んに声援を送っていました。



この「馬跳ばせ」は、2年前、およそ40年ぶりに再現された上県町瀬田地区に伝わる伝統行事で、旧暦6月の午の日に行われていた「初午祭」の余興として行われていたものです。最盛期には20頭ほどが参加するなど、地区の一大イベントでした。

現在では、農業の機械化で対州馬の数の減少とともに行事も途絶えていました。そこで、この伝統ある祭りを復活させ、対州馬の復興、観光の活性化につなげようと、旧上県町が地元の住民と共に実行委員会を組織。祭りの復活が実現されたものです。

午前10時半に始まった「馬跳ばせ」では、島内で飼育されている対州馬（上県町4頭、美津島町2頭）が6頭参加し、約300mの直線コースで速さを競いました。手綱を握ったのは、福岡第一高校乗馬クラブの生徒らで、たくみに対州馬を操っていました。出走する馬は、調教による訓練の

成果で、昨年以上のスピードで爆走していました。

迫力あるレースの他にも、対州馬が隊列を組んで行進を行うカトリック演技や、障害馬術演技、馬に乗って矢を射る流鏑馬などが披露されたほか、気性のおとなしい対州馬にふれあってもらおうと、乗馬体験コーナーも設けられました。このコーナーには、多くの子供たちが参加。対州馬にまたがりうれしそうにしている子供たちに混じって、怖くて泣き出す子供も何人かいました。



また、会場の周りには、地元農産物や軽食を販売する出店が数多く並び、多くの人出で賑わっていました。盛り

だくさんの内容で行われた対馬初午祭。来場者は、今や対馬産の稀少動物となった対州馬を身近に感じ、愛着を感じた一日となったようでした。



自然美を満喫

2004上対馬もみじ祭り
11月7日、もみじ実行委員会主催による「2004上対馬もみじ祭り」が舟志もみじ街道（上対馬町内）をメイン会場に行われました。

舟志愛鼓連の力強い太鼓演奏が山々に鳴り響くなか祭りが開始され、特設ステージでは舞踊やグリーンキッズによるかわいいダンス、ラムネの早飲み大会、プロ歌手による

歌謡ショーで会場中が盛り上がりました。

また、メイン会場ではたくさんのお店も軒を並べ、特産品販売は大盛況でした。約1400人の行楽客が訪れ、深まりゆく秋の景色と、祭りを楽しんでいました。



ハロウィン パーティー



トリックオアトリートの様子

キリスト教のお盆にあたる「万聖節(10月31日)」の前夜祭であるハロウィンにあわせて、10月30日に「ハロウィンパーティーインみつしま」が、雞知中体育館で開催されました。

パーティーには、市内から幼児や小学生、中学生など約200名が参加。対馬や舌岐のALIT11名がリーダーになって、ハロウィンの劇や「トリックオアトリート」(「なんかくれないと悪さするぞ」の意。子どもたちが家々を回ってお菓子をもらうこと)やトレジャーハント(宝探し)、

お化け屋敷、英語ゲームなどで楽しみました。

最後に仮装コンクールが行われ、参加者が思い思いに考えてきた仮装の中から「かわいい」「カッコイイ」「こわい」「おもしろい」「特別」の5部門で各2名ずつが選ばれました。受賞者は賞品のケーキをもらって嬉しそうにしていました。



スポーツの 芸術の 食欲の 秋

どんな秋を満喫されましたか

対馬市厳原町より

合併して初めての秋を迎えた厳原町では、「秋」を満喫する行事が目白押しでした。

まずは、10月10日に厳原町運動会が、金田小学校で開催されました。心配された天候も好天に恵まれ、大会は大いに盛り上がりました。優勝は地元優勝に燃える佐須地区と自力に勝る厳原地区が最後までデッドヒート、わずかな差で佐須地区が合併後初の優勝旗を手に入れました。



また、第42回厳原町駅伝大会が、10月31日に開催されました。大会は豆敷十字路(対

馬市役所前までの46km、全10区間で争われ、幅広い年齢層の選手たちが、秋の厳原路を走破しました。

次に11月は、心と食欲を満たす行事が、住民の心を癒しました。3日文化の日の産業祭と、14日の賑わい内山盆地収穫祭は、地元産物を求める多くの市民で賑わいました。両行事とも、子どもが楽しめるイベントも組み込まれ、子どもから大人まで大いに楽しみました。



また、14日には厳原中学校吹奏楽部の第5回定期演奏会が開催されました。演奏会には会場狭しと聴衆が訪れ、すばらしい演奏に惜しみない拍手を送っていました。



町駅伝の結果

一般の部(中学生区間除く6区間)
陸自対馬2時間8分57秒
地区の部(全10区間)
厳原地区3時間8分34秒
中学生の部(4~7区間の4区間)

久田地区37分34秒
区間賞

1区	舟倉大亮	20分37秒
2区	江口大修	19分22秒
3区	石丸勝光	29分30秒
4区	中庭重和	9分05秒
5区	阿比留幸輝	11分47秒
6区	小島 梓	7分15秒
7区	阿比留 優	9分27秒
8区	二田水 進	16分09秒
9区	日高善治	19分11秒
10区	日高久朋	24分08秒

実りの秋、 収穫の喜びを体験！



農業の楽しさ、収穫の喜びを体験し、地元の農産物の消費拡大を図ろうと、農業委員会、認定農業者協議会、対馬農協の共催による「稲刈り・餅つき体験」が、10月24日、お米の産地である上県町佐護で開催されました。

このイベントには、島内各地から家族連れなど約140名が参加。参加者は、さわやかな秋晴れの下、ノコギリのような刃のついた稲刈り鎌を使って、たわわに実った稲を次々に刈り取りました。

しゃがんだ姿勢での作業は思いのほか重労働で、最初は

勢いがよかった作業も次第にゆっくりとなっていましたが、みなさん楽しそうに収穫していました。

収穫作業後、会場を湊浜シーランドステージに移し、餅つき体験を行いました。子供たちは重いキネに足をふらつかせながらも、係員にコツを教わりながら餅をついていました。

上県地区 公民館まつり



公民館講座を通して生涯学習活動に取り組んでいる方々の作品を一堂に展示し、活動の成果を披露する毎年恒例の

「公民館まつり」が、11月3日、4日の両日、上県地区公民館で開催され、多くの来館者で賑わいました。

館内には、陶芸、硯石、木工細工、生け花などの様々な作品と共に、町内の保育園児、小中学生から絵画や書道作品などが展示されました。どの作品も作者の愛情がたつぷり注がれた力作ぞろいの作品でした。

また、陶芸講座、茶の湯の実演コーナー、野草講座による野草茶等の試飲試食コーナーが設けられ、多くの方々が楽しんでいました。



上対馬町 文化祭・文化展

上対馬町文化展が、上対馬総合センターで、11月5日から7日までの3日間行われ、幅広い世代から書、絵画、手工芸、写真などの作品160点が展示されて、訪れた人々の目を楽しませていました。

また、7日には、同センターで文化発表会が行われ、舞踊や詩吟、民謡、コーラス、三味線など、17団体が、日頃の練習の成果を十分に発揮した演技を披露しました。



いきいき 豊玉まつり



いきいき豊玉まつり（文化祭・産業祭）が11月6日と7日、「豊玉町文化の郷」で開催されました。

文化祭は、菊花展や子どもたちの絵画、習字の作品が展示されました。また公会堂事業では少年の意見発表会、アニメの上映、高齢者教養講座、芸能発表が開催され、訪れた人々を楽しませました。

産業祭は、新鮮な農林水産物の即売会、各種団体によるバザー、地元バンドによるコンサート、かわいい保育園児によるダンスなどが催されました。また、対馬特産の「そば打ち」体験コーナー、訪れた人の健康をチェックする「い

きいき健康相談コーナー」も開設され血圧の測定なども行われました。

そのほか、対馬馬の乗馬体験、餅つき体験、マグロの解体ショー、ジャンボかぼちゃの計量クイズと、盛りだくさんのイベントに子供からお年寄りまで多くの人で賑わいました。



みつしま町 文化まつり

11月6日～7日、美津島体育館で第1回みつしま町文化まつりが開催されました。

会場には、児童・生徒の絵画や習字をはじめ、公民館講座や婦人学級、サークル活動で製作された書道・陶芸・押し花・洋裁等の作品800点

以上が展示されました。また、陶芸や折り紙の体験コーナーも設けられ、子どもからお年寄りまで楽しめる催しとなりました。

また、6日には、文化協会の発表会も同時開催され、詩吟・舞踊・コーラス等26の演目が披露され、見事な演技に来場者から大きな拍手が送られていました。



みつしま 駅伝大会



11月7日、雞知宮前バス停から国道を周回するコースで「第25回みつしま駅伝大会」が、20チーム、80人の参加で行われました。

今年は、天候も良く、暖かい日差しの中、競技が行われ、一般の部で美津島バスケットチームが2連覇を果たしました。また、新設された小・中学生の部では、今里剣道部Bチームが優勝しました。

【大会結果】《一般の部》
美津島バスケット(有富隆志、高松将太、薄本聡、阿比留章好) 39分23秒 たけし軍団 39分51秒 美津島クラブ 40分19

秒《小・中学生の部》 今里中剣道部B(吉村克希、日下部靖成、高雄順大、早田英之) 41分05秒 今里中剣道部C 42分31秒 今里中剣道部A 42分37秒《区間賞》 1区(2.5km) 久田隆(海自対馬防備隊A) 7分49秒 2区(2.5km) 小島拓郎(たけし軍団) 8分01秒 3区(2.5km) 黒岩洋介(美津島クラブ) 8分02秒 4区(4.1km) 土肥正幸(今里クラブ) 11分59秒(新記録)

対馬で野球の 九州大会

第4回全九州遠征野球大会

第4回全九州遠征野球大会が、11月6日から8日の3日間、九州各県からの15チームと対馬の「対馬やまねこクラブ」が参加して、厳原総合運動公園、対馬グリーンパークで開催されました。

試合は、遠征とは思えない若さあふれるハツラツとしたプレーの連続で、決勝には、熊本県代表の「熊本スターズ」と長崎県代表「アイケン医院シニアクラブ」が進出。

優勝したのは、熊本スター

ズで、同大会3連覇を果たしました。また、個人賞は、最優秀選手に村岡欣一選手(熊本スターズ)、敢闘賞には森山邦広選手(アイケン医院シニアクラブ)が選ばれました。今回の大会で対馬に訪れた選手は246名。野球を楽しむだけでなく、対馬のおいしい料理やお酒に大満足でした。



ハツラツとしたプレー



優勝した熊本スターズ